



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6376 URL <https://www.nikkiso.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画本部長 (氏名) 村上 雅治 TEL 03(3443)3711  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	151,708	13.6	3,739	119.9	4,622	△46.1	4,126	△35.7	4,188	△33.2	5,685	△55.5
2023年12月期第3四半期	133,499	1.7	1,700	△95.2	8,582	△75.3	6,418	△57.6	6,268	△58.0	12,764	△64.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	63.26	63.18
2023年12月期第3四半期	94.73	94.61

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	311,113	129,857	128,024	41.2
2023年12月期	296,228	126,288	124,426	42.0

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	12.50	—	15.00	27.50
2024年12月期	—	15.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	10.6	7,000	18.9	10,700	△8.0	8,800	△3.0	132.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積もりの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年12月期3Q	69,175,664株	2023年12月期	69,175,664株
2024年12月期3Q	2,925,204株	2023年12月期	2,992,700株
2024年12月期3Q	66,215,823株	2023年12月期3Q	66,173,975株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 決算成績の概況

2024年第3四半期の世界経済は、ウクライナ情勢の長期化等の地政学上の問題等によりエネルギー確保の動きが活発に推移する一方で、中国の不動産市況低迷の長期化による景気回復の遅れ、欧米等の金融引き締めによる需要抑制影響や円相場の乱高下など、先行き不透明な状況が続きました。

インダストリアル事業の主要市場であるLNG、次世代エネルギー関連市場では、中長期的なエネルギー確保、低・脱炭素化の動きによって設備投資需要は拡大基調で推移しています。航空機産業は、コロナ禍以降、航空機需要の回復に伴い、寸断したサプライチェーンの再構築、増産に取り組んできましたが、昨今の航空機メーカーの品質問題、ストライキの影響などで回復は遅れており、回復の先行きは不透明な状況です。メディカル事業の主要市場である血液透析市場では、国内需要はほぼ例年並みとなり、海外は欧州、タイ等のアジア市場の引き合いが好調に推移した一方、中国市場は一時的に需要が減少しました。

当第3四半期累計期間においては、中期経営計画「Nikkiso 2025 フェーズ2」（対象期間：2023年～2025年）の基本方針の一つとして取組みを進めている事業ポートフォリオの再構築に伴う一過性の損失はありますが、航空宇宙事業は業界の回復遅れの影響はあるものの、円安効果もあって前年から増収し営業損失は縮小、メディカル事業は前年から減収減益となるも概ね想定通りに推移、インダストリアル事業については主力の米国子会社Clean Energy & Industrial Gasグループ（CE&IGグループ）が当初想定より生産・出荷が進捗し、前年から大幅な増収増益となりました。

なお、事業ポートフォリオの再構築に伴う一過性の損失は、ヘルスケア製品に関する棚卸資産の評価損を482百万円（「医療部門」計上）、深紫外線LEDパッケージに関する棚卸資産の評価損を702百万円（「工業部門」計上）、CRRT事業に関する減損損失を655百万円（「調整額（全社費用等）」計上）の計1,840百万円を当第2四半期に計上しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ業績は、受注高171,829百万円（前年同期比18.9%増）、売上収益151,708百万円（同13.6%増）、営業利益3,739百万円（同119.9%増）となり、全体では大幅な増収増益となりました。一方、円安による為替差益が316百万円（前年同期は6,234百万円）と前年から大きく減少したことから、税引前四半期利益は4,622百万円（同46.1%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,188百万円（同33.2%減）となりました。

## ② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2023年12月期 第3四半期実績	2024年12月期 第3四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	144,462	171,829	+27,367	+18.9%
工業部門	82,340	111,442	+29,101	+35.3%
インダストリアル事業	71,692	98,553	+26,861	+37.5%
航空宇宙事業	10,036	12,286	+2,250	+22.4%
医療部門	62,327	60,574	△1,752	△2.8%
売上収益	133,499	151,708	+18,209	+13.6%
工業部門	71,798	92,844	+21,045	+29.3%
インダストリアル事業	61,018	80,260	+19,242	+31.5%
航空宇宙事業	10,164	12,009	+1,845	+18.2%
医療部門	61,901	59,026	△2,875	△4.6%
セグメント利益	1,700	3,739	+2,038	+119.9%
工業部門	49	4,097	+4,047	—
インダストリアル事業	2,019	6,147	+4,128	+204.5%
航空宇宙事業	△824	△212	+611	—
医療部門	5,139	2,458	△2,681	△52.2%
調整額（全社費用等）	△3,551	△2,949	+601	—
税引前四半期利益	8,582	4,622	△3,959	△46.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	6,268	4,188	△2,079	△33.2%

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の金額が含まれています。

※ セグメントごとの各金額欄には、内部取引控除前の金額を表示しています。

《事業セグメント別の事業環境と事業概況》

事業	主要製品	2024年12月期 第3四半期の事業・受注環境	2024年12月期 第3四半期の業績概況
インダストリアル事業	産業用ポンプ・システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中東、アジアを中心とした化学プラント関連の需要が堅調に推移。受注高は前年を下回るが、受注残の遂行に注力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品Mixの見直し、販売価格の適正化が奏功、収益性は継続して回復。</li> </ul>
	液化ガス・産業ガス関連機器・装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LNG市場は、エネルギー確保や低・脱炭素化に向けた需要が活況で、北米、欧州、アジア地域の液化・受入基地等の案件で活発な動きが継続。</li> <li>・水素、アンモニア等の次世代エネルギー関連市場は、実証実験投資含めた活発な動きが継続するも、業績への本格的な貢献は数年先以降と見込む。</li> <li>・受注高は、水素ステーション・LNG関連の大型受注で大幅な増加。</li> </ul>	<p>主要プレイヤーであるCE&amp;IGグループは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LNGや水素ステーション事業などの受注案件の工事遂行が進み、売上収益が大きく増加。</li> <li>・収益面では、体制整備等の固定費などが増加するも、着実な案件遂行による増収効果で収益性は大きく改善。</li> </ul>
	精密機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体需要低迷の影響で電子部品市場は設備投資の調整局面が続く。受注高は前年を下回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売価格適正化の取組が奏功し、収益性は回復基調。</li> </ul>
航空宇宙事業	民間航空機向け炭素繊維強化プラスチック(CFRP)成形品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍以降、航空機需要の回復に伴い、航空機産業全体が寸断したサプライチェーンの再構築、増産に取り組んできたが、航空機メーカーの品質問題、ストライキなどの影響で、回復の先行きは不透明な状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機産業のサプライチェーン再構築が進む中、主力製品のカスケード、ベトナム ハノイ工場の生産部品等の出荷は緩やかに増加。</li> <li>・増収効果、円安影響、前期からの段階的な販売価格の適正化等で、粗利益の回復は継続。一方、増産対応等により固定費は増加しており、収益性の改善は継続課題。</li> </ul>

メディカル事業	血液透析関連製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液透析装置及び消耗品の国内受注はほぼ前年並み。</li> <li>・海外では中国市場は一時的に受注は減少、欧州、アジア市場は好調な引き合いが継続。</li> <li>・米国市場は、血液透析装置の販売許認可の取得に向けた対応及び取得後の拡販に備えた体制整備を継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液透析装置の国内販売は、前年の一時的な出荷増加（部品不足解消による）が消滅したことに加え、市場競争も激化したことで減収。</li> <li>・消耗品は透析用剤・血液回路の販売価格適正化の取組が奏功し、増収。</li> <li>・海外販売は、欧州、アジア市場が好調も、中国市場が一時的に縮小したことで減収。</li> <li>・欧州等の増収影響、販売価格の適正化や血液回路製品の型式削減など製品の収益性改善があるものの、中国市場の減益、固定費・経費の増加により減益。</li> </ul>
	CRRT（急性血液浄化療法）関連製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主力の中国市場は一時的に受注は減少。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主力の中国市場の減収影響が大きく営業損失を計上。</li> <li>・2024年12月中に同事業を運営する子会社2社の株式譲渡を予定。</li> </ul>

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は311,113百万円となり、前連結会計年度末に比べて14,884百万円増加しました。使用権資産の増加が主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は181,256百万円となり、前連結会計年度末に比べて11,316百万円増加しました。未払法人所得税等が減少した一方、借入金が増加したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は129,857百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,568百万円増加しました。利益剰余金の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績につきましては、第3四半期累計期間ではインダストリアル事業が牽引し、回復基調は継続しています。一方、航空機メーカーの品質問題やストライキの影響、メディカル中国市場の一時的な需要減退や国内販売の競争激化、加えて円の乱高下による為替差損益の変動など、当社を取り巻く事業環境は予断を許さない状況が続いています。このような不確実性の高い状況を踏まえ、現時点では連結業績予想を据え置きますが、今後、各事業の環境変化の影響を見極め、修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。なお、当該業績予想で前提としている為替レートは、150円/米ドル、160円/ユーロです。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,304	32,037
営業債権及びその他の債権	62,674	60,809
その他の短期金融資産	583	949
棚卸資産	56,470	58,466
未収還付法人所得税	660	2,576
その他の流動資産	7,956	7,239
小計	160,650	162,079
売却目的で保有する資産	—	7,824
流動資産合計	160,650	169,904
非流動資産		
有形固定資産	53,598	50,663
のれん及び無形資産	36,509	36,043
使用権資産	17,389	24,184
持分法で会計処理されている投資	5,140	5,570
長期金融資産	19,860	21,010
繰延税金資産	2,406	2,686
その他の非流動資産	674	1,049
非流動資産合計	135,578	141,209
資産合計	296,228	311,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	16,482	9,043
営業債務及びその他の債務	29,154	27,294
リース負債	2,666	3,454
その他の短期金融負債	677	628
未払法人所得税等	19,926	1,580
引当金	1,345	1,266
その他の流動負債	31,442	33,876
小計	101,696	77,145
売却目的で保有する資産に直接関連する 負債	—	1,656
流動負債合計	101,696	78,801
非流動負債		
長期借入金	48,302	76,861
リース負債	13,601	19,720
その他の長期金融負債	27	229
退職給付に係る負債	1,599	1,527
引当金	2,143	1,476
繰延税金負債	2,487	2,573
その他の非流動負債	81	66
非流動負債合計	68,243	102,454
負債合計	169,940	181,256
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	6,113	6,005
自己株式	△2,753	△2,691
その他の資本の構成要素	24,797	26,230
利益剰余金	89,724	91,936
親会社の所有者に帰属する持分	124,426	128,024
非支配持分	1,862	1,833
資本合計	126,288	129,857
負債及び資本合計	296,228	311,113

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	133,499	151,708
売上原価	△98,983	△110,773
売上総利益	34,515	40,935
販売費及び一般管理費	△33,275	△37,623
その他の収益	509	1,375
その他の費用	△48	△948
営業利益	1,700	3,739
金融収益	6,928	1,104
金融費用	△576	△702
持分法による投資利益	529	481
税引前四半期利益	8,582	4,622
法人所得税費用	△2,163	△496
四半期利益	6,418	4,126
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,268	4,188
非支配持分	150	△62
四半期利益	6,418	4,126
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	94.73	63.26
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	94.61	63.18

## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	6,418	4,126
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	△283	751
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
合計	△282	751
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	6,292	839
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	△33	△131
持分法適用会社に対する持分相当額	369	99
合計	6,628	807
税引後その他の包括利益	6,345	1,558
四半期包括利益	12,764	5,685
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	12,452	5,630
非支配持分	312	54
四半期包括利益	12,764	5,685

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2023年1月1日	6,544	10,969	△7,491	6,437	15,977
四半期利益					
その他の包括利益				△282	6,500
四半期包括利益合計	—	—	—	△282	6,500
自己株式の取得			△0		
自己株式の消却		△4,718	4,718		
配当金					
株式に基づく報酬取引		△5	20		
利益剰余金への振替				△21	
所有者との取引額等合計	—	△4,724	4,738	△21	—
2023年9月30日	6,544	6,245	△2,753	6,133	22,477

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2023年1月1日	88	22,503	81,702	114,227	1,537	115,764
四半期利益			6,268	6,268	150	6,418
その他の包括利益	△33	6,183		6,183	161	6,345
四半期包括利益合計	△33	6,183	6,268	12,452	312	12,764
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の消却				—		—
配当金			△1,654	△1,654	△79	△1,733
株式に基づく報酬取引				14		14
利益剰余金への振替		△21	21	—		—
所有者との取引額等合計	—	△21	△1,633	△1,640	△79	△1,719
2023年9月30日	55	28,665	86,337	125,039	1,769	126,809

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2024年1月1日	6,544	6,113	△2,753	5,717	19,049
四半期利益					
その他の包括利益				751	801
四半期包括利益合計	—	—	—	751	801
自己株式の取得			△0		
自己株式の処分		18			
配当金					
株式に基づく報酬取引		△49	62		
利益剰余金への振替				△9	
その他		△77			
所有者との取引額等合計	—	△107	61	△9	—
2024年9月30日	6,544	6,005	△2,691	6,459	19,850

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2024年1月1日	30	24,797	89,724	124,426	1,862	126,288
四半期利益			4,188	4,188	△62	4,126
その他の包括利益	△111	1,441		1,441	117	1,558
四半期包括利益合計	△111	1,441	4,188	5,630	54	5,685
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				18		18
配当金			△1,986	△1,986	△84	△2,070
株式に基づく報酬取引				12		12
利益剰余金への振替		△9	9	—		—
その他				△77		△77
所有者との取引額等合計	—	△9	△1,977	△2,032	△84	△2,116
2024年9月30日	△80	26,230	91,936	128,024	1,833	129,857

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,582	4,622
減価償却費及び償却費	7,633	8,449
減損損失	—	818
受取利息及び受取配当金	△594	△682
支払利息	568	698
為替差損益(△は益)	2,810	53
持分法による投資損益(△は益)	△529	△481
有形固定資産の除売却損(△は益)	16	△454
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	2,616	480
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,314	△7,056
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,878	△1,104
契約負債の増減額(△は減少)	3,669	1,666
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△34	△14
その他	△1,053	336
小計	12,491	7,331
利息及び配当金の受取額	710	699
利息の支払額	△646	△658
法人所得税の支払額	△1,560	△21,133
法人所得税の還付額	65	305
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,060	△13,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24	△135
定期預金の払戻による収入	0	21
有形固定資産の取得による支出	△6,863	△3,405
有形固定資産の売却による収入	75	1,271
無形資産の取得による支出	△712	△291
無形資産の売却による収入	0	—
資本性金融商品の売却による収入	383	25
関係会社株式の取得による支出	△899	—
短期貸付けによる支出	△3	△4
短期貸付金の回収による収入	3	3
その他	—	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,041	△2,462

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	829	23,223
短期借入金の返済による支出	△829	△23,983
リース負債の返済による支出	△2,445	△2,792
長期借入れによる収入	—	35,333
長期借入金の返済による支出	△7,240	△13,519
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,654	△1,986
非支配持分への配当金の支払額	△79	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,420	16,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,814	539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,216	813
現金及び現金同等物の期首残高	48,462	32,304
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物	—	△1,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,246	32,037

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

報告セグメントの識別方法、セグメント利益の測定基準について、当第3四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

## (2) セグメント収益及び業績

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額 (注) 2
	工業部門	医療部門	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	71,597	61,901	133,499	—	133,499
セグメント間の内部売上収益又は振替高	201	0	201	△201	—
計	71,798	61,901	133,700	△201	133,499
セグメント利益(△は損失)	49	5,139	5,189	△3,488	1,700
その他の項目					
金融収益					6,928
金融費用					△576
持分法による投資損益(△は損失)					529
税引前四半期利益					8,582

(注) 1. セグメント利益の調整額のうち、△3,551百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用等で、62百万円はセグメント間取引消去です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額 (注) 2
	工業部門	医療部門	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	92,682	59,025	151,708	—	151,708
セグメント間の内部売上収益又は振替高	161	0	161	△161	—
計	92,844	59,026	151,870	△161	151,708
セグメント利益(△は損失)	4,097	2,458	6,555	△2,816	3,739
その他の項目					
金融収益					1,104
金融費用					△702
持分法による投資損益(△は損失)					481
税引前四半期利益					4,622

(注) 1. セグメント利益の調整額のうち、△2,949百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用等で、132百万円はセグメント間取引消去です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。